

令和6年度第2回木更津市市民活動支援センター運営協議会 議事録

日 時	令和7年3月25日(火)14時00分～15時20分
場 所	木更津市立中央公民館 第1会議室
出席者	○委員 湯谷 賢太郎、川口、正彦、平野 秀樹、石原 敬司、神谷 啓子、荒木 太郎、大迫 美津枝(10名中6名出席) ○指定管理者【三幸株式会社南総支店】(報告では退出) 川出執行役員支店長、鳥海センター長、斎藤業務担当課長 ○木更津市 石井市民部長、鈴木市民活動支援課長、山崎市民活動係長、平松主任主事

【市民活動支援課：山崎係長】

皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

ただ今より、令和6年度第2回木更津市市民活動支援センター運営協議会を開会いたします。

私は、本日、進行を務めさせていただく、市民活動支援課の山崎と申します。よろしくお願いいたします。

まず、本日の委員の皆様の出席状況について、ご報告いたします。

田中委員、堀切委員、小磯委員が欠席のため、10名中7名での会議開催となります。

また、本日の会議終了は、16時を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

本協議会の公開・非公開についてですが、議題である「令和6年度事業の実施状況について」及び「次期指定期間の事業計画について」は、公開。

報告案件である「(仮称)木更津市民交流プラザについて」は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例第5条第5号に基づき、木更津市民交流プラザのレイアウト案等に関する事項であって、公にすることにより、当該事務事業の公正若しくは円滑な執行に支障が生ずると認められるため、非公開といたします。

それでは、次第2について、市民部長の石井より挨拶させていただきます。

－ 石井部長挨拶 －

【市民活動支援課：山崎係長】

ありがとうございました。

それでは、次第3 議題にはいりますので、木更津市市民活動支援センター管理運営規則第17条第1項の規定に基づき、湯谷会長に議長を務めていただきます。

湯谷会長、よろしくお願いいたします。

【湯谷会長】

議長を務めさせていただく、湯谷でございます。よろしくお願いいたします。

なお、木更津市市民活動支援センター管理運営規則第17条第2項の規定に基づき、委員の半数以上が出席されているので、本運営協議会は成立するものといたします。

本日は、議題として(1)令和6年度事業の実施状況について、(2)次期指定期間の事業計画について、報告として(1)(仮称)木更津市民交流プラザについてとなります。

それでは、(1)令和6年度事業の実施状況について、指定管理者である三幸株式会社 南総支店より説明をお願いします。

【鳥海センター長】

資料に基づいて説明。

【湯谷会長】

ありがとうございました。それでは、指定管理者へ質問や意見等がありますでしょうか。

【鳥海センター長】

資料に基づいて説明。

【湯谷会長】

ありがとうございました。それでは、指定管理者へ質問や意見等がありますでしょうか。

【川口委員】

利用者が登録団体なのか登録団体では一般利用者なのか、そういったことは把握しているのでしょうか。

特定の団体だけが使用しているといった利用者のデータは今後の運営を改善していく上で大事なものだと思うので、お聞きします。

【鳥海センター長】

各登録団体の利用回数の集計は取っていますが、一般利用者の方との割合は出していないので、今後、割合の集計も行いたいと思います。

【川口委員】

自主事業についてですが、これまで様々な自主事業を実施していただいております。感謝申し上げます。今後、自主事業を行う上での要望となりますが、登録団体をもっと引っ張ってくれるような事業をやっていただけるとより良い事業ができるのかなと感じています。

【鳥海センター長】

いただいた意見を踏まえ、検討していきます。

【平野委員】

資料4ページの登録団体交流会のことでお聞きしたいのですが、私が所属する社会福祉協議会でもボランティアセンターがあり、福祉系のボランティアの人たちの登録制度があって団体や個人の方も登録しているんですが、10年以上前に登録している人たちの横の繋がりを強化するため、ボランティア連絡協議会というのがありました。それぞれ違う目的のために活動している方たちだったため、最終的には横並びの関係を維持することが難しく解散しています。

市民活動というのは、高度な目的を持って活動されている方達と思っているのですが、そういった共通認識を持っている方同士の交流会が非常に重要だと思っています。この交流会でどんなことをやったのか教えてください。

【鳥海センター長】

内容としては、市民活動を行う上で、一番困難な時期・つらかった状況を話し、そういったときにどのように自分を鼓舞したか、どういった気持ちで続けていったのかというのを共有しました。また、長年、市民活動が続けている方のマインド、どういった気持ちで活動が続けているのかということも話していただきました。活動報告だけではなく、気持ちを共有していただく機会としました。

【湯谷会長】

意見になりますが、自主事業は、下半期は利用者数も増えて、非常に努力されて素晴らしいなと思います。自主事業を行う上で、忘れがちになってしまいましたが、何のために自主事業を行うのかというところです。目的として、市民活動支援センターを知ってもらう、市民活動について知ってもらう、市民活動に興味のある個人と団体の橋渡し、もしくは、団体同士の橋渡し、上手く活動できてない団体のスキルアップなど、それぞれの目的があると思います。それぞれの自主事業がどの目的に該当するのかっていうのを整理していただくと、より良い事業ができるのではないかと思います。

【湯谷会長】

それでは、意見等ないので、続いて、次期指定期間の事業計画について、指定管理者である三幸株式会社 南総支店より説明をお願いします。

【鳥海センター長】

資料に基づいて説明。

【湯谷会長】

ありがとうございました。それでは、指定管理者へ質問や意見等がありますでしょうか。

【石原委員】

市民活動スキルアップ講座やプログラミング体験会の内容は継続的にシリーズ化などされているのでしょうか。

【鳥海センター長】

そうです。通年でステップアップして市民活動におけるスキルをセットアップしていけるような内容にしています。

また、事業を行っていく中で、アンケートに書かれている要望事項なども反映させようと考えています。

【湯谷会長】

意見となりますが、新しい期に入るということで、何か新しい取り組みへのアイディアみたいなものないかなと考えたのですが、木更津市は地域循環共生圏にかなり力を入れていまして、地域を良くしたいという団体さんも参加しているので、そこに参加している団体さんと繋がってみるのもいいかなと思います。

【神谷委員】

自主事業の自然と触れ合う環境体験プログラムというのはどういった内容でしょうか。

【鳥海センター長】

こちらは登録団体との共同事業になりますが、来年度は施設外での事業を増やし、歴史文化財の宝庫である太田山公園を散策しながら、歴史探訪をするという内容になっています。

【荒木委員】

私は災害時などに近所の方に配れるように水を120ℓ常備しています。地域のためにという思いで活動しているので、市民活動支援センターの事業で一緒にやれることがあれば協力したいので、お声がけください。

【大迫委員】

少ない職員数で色々な事業をやっていただいているなと感じていますが、マンパワーが足りているのかなと思っています。これからは各事業を行うときに団体などに声掛けしてボランティアスタッフを募集してみるのはどうかなと思っています。

私自身もそういったボランティア活動に興味があるのでお声がけしていただければと思います。

【川出支店長】

現状、人が足りていないときは支店などから職員を派遣しておりますが、いただいた意見を踏まえ、来年度はボランティアを募集したいと思います。

【湯谷会長】

意見等ないので、議題を終了します。

それでは、議題が終了したため、指定管理者の皆様は退出をお願いします。

【報告】

「（仮称）木更津市民交流プラザについて」は非公開

【山崎係長】

最後に、次第5 その他について、この場で伝えておきたいこと等がございましたら、お願いいたします。

－ 意見なし －

ご意見等ないので、以上をもちまして、令和6年度第2回木更津市市民活動支援センター運営協議会を閉会いたします。ありがとうございました。